

## 読売新聞 きょう（11月14日）のイチ押し

### 1面・社会面 藤井最年少四冠

将棋界の最高棋戦の第34期竜王戦七番勝負（読売新聞社主催）で、藤井聡太三冠（19）が豊島将之竜王（31）にシリーズ4連勝し、初の竜王を獲得しました。19歳3か月での四冠は史上最年少になります。

- ★ 四冠の同時保持者は6人目です。これまでの最年少は羽生善治九段の22歳9か月でしたが、3年6か月更新しました。将棋の八大タイトルでは、四冠の藤井新竜王、三冠の渡辺明名人、一冠の長瀬拓矢王座の3人が分け合う構図になりました。
- ★ 強さの神髄は、どんな局面になっても勝ちに結びつける万能さのようです。トップ棋士の中でも、読みの速さ、深さ、正確さは突出していて、羽生九段は「天から与えられた才能」とたたえています。
- ★ 最高位を獲得して「藤井1強」時代の幕が開きました。新竜王の強さと素顔に迫る連載「藤井時代 19歳四冠」が始まりました。

### 1面・2面 経済安保 半導体を確保（本紙の独材です）

政府が来年の通常国会への提出を目指す経済安全保障推進法案（仮称）の概要がわかりました。①サプライチェーン（供給網）の強靱化②基幹インフラ（社会基盤）の機能維持③特許の非公開化④技術基盤の確保——の4つが柱になります。半導体の確保や機密情報の保護、技術の海外流出を防ぐ仕組みなど経済安全保障に関する国内体制の整備を促進する内容になっています。

半導体などの戦略物資の確保や、先端技術の育成などの分野では、民間任せの取り組みに限界があることから、法整備を急いでいます。

#### 他紙と比べて

新型コロナウイルス専門病院の大阪市立十三病院が、軽症・中等症患者の重症化を防ぐ「抗体カクテル療法」の実施状況を分析した結果を社会面に掲載しています。本紙の独材です。発症から3日目までに投与すると重症化した患者はいないなど、早期治療の効果が高く、症状が悪化しにくい傾向がはっきりとわかってきたようです。今後のコロナ治療に役立つ情報です。